

届出規模は、『棟』単位で判断します。
建築確認と扱いが異なる場合がありますので注意してください。

(表)

景観計画区域内における行為の届出書

年 月 日

(あて先) 上越市長

届出者

住所（所在地）

氏名（代表者氏名）

電話番号

建築主 = 届出者です。

次のとおり景観法第16条第1項の規定により、景観計画区域内における行為について関係図書を添付して届け出ます。

建築主の住所、氏名 及び電話番号	法人の場合は、会社名と代表名の両方を記載			
設計者の住所、氏名 及び電話番号	会社・事務所で業務を受けている場合は、会社・事務所名と設計者名の両方を記載			
施工者の住所、氏名 及び電話番号	会社で業務を受けている場合は、会社名と代表者名の両方を記載			
行 為 地	住 所	上越市 住居表示が決まっていない場合は、地名地番を記載		
	用途地域	都市計画により定められた用途地域を記載。 指定がない場合は「市街化調整区域」「都市計画区域外」など記載。		
	そ の 他	「地区計画」「国定公園区域」など、用途地域以外の区域・地区指定を記載		
行 為 の 期 間	着手予定 年 月 日	年 月 日	完了予定 年 月 日	年 月 日
行 為 の 種 類	<input type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 新設 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転 <input type="checkbox"/> 外観の変更（ <input type="checkbox"/> 修繕 <input type="checkbox"/> 模様替え <input type="checkbox"/> 色彩変更） <input type="checkbox"/> 開発行為			

着手日は、基礎工事以降の工程の開始日にかまいません。
基礎工事までは、届出前に着工可能ですが、届出後に修正が必要な場合がありますので、変更可能な時期に届出を提出してください。

複数棟ある場合は、当該面をコピーして『棟』単位で必要事項記載してください。

(裏)

建築物等の概要	用途	具体的に記載する					
	高さ	塔屋、パラペット、鉄塔などを含めた見かけ上の最高高さを記入（建築基準法上の高さとは異なる） m					
	階数	地上	階	地下			
	構造	造	一部	造			
	敷地面積	m ²					
	建築面積	届出部分	m ²	既存部分	m ²	合計	m ²
	延べ面積	届出部分	m ²	既存部分	m ²	合計	m ²
	屋外又は屋上に設置する建築設備の種類	空調室外機、キュービクル、浄化槽ブロア室などを記載					
	屋根	仕上材	素材と仕上の両方が分かるように記載		カラーコピーやカラープリントは、正確に色の再現できないため、原則として『日本塗料工業会の色見本』を使用 (色彩見本貼付欄)		
		色彩	※マンセル値を記入				
	外壁	仕上材			(色彩見本貼付欄)		
		色彩	※				
		仕上材			(色彩見本貼付欄)		
色彩		※					
開発行為	開発面積	m ²					
備考							

備考

- ※印欄は、マンセル値を記入してください。
- 高さ及び面積は、小数点以下2位未満の端数を切り捨てて記入してください。
- 次の図書を添付してください。
 - 付近見取図 配置図 各階平面図 立面図 外構平面図 完成予想図
 - 周辺の現況写真 景観計画区域内における行為の基準チェックリスト（第5号様式）